



校長だより

日中丸



第23号
H30. 12. 7

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

第6回「日間賀サミット」12.4(火)

第6回日間賀サミットを開催しました。今回のテーマは、「人とのふれあいを大切にするために自分たちができること」です。小学生と中学生、島民の皆さんが6つのグループに分かれて、ワールドカフェ形式で話し合いを行いました。途中メンバーを入れ替えて話し合いを行い、それぞれの内容を発表しました。「笑顔で、自分からあいさつする」「祭りなどの行事に積極的に参加する」「お互いに助け合う」などが発表されました。

会の冒頭には、島の若い漁師さんから「今、島には若い人が減ってきており、祭りを行うことが難しくなっている。若い人には島に残ってほしい。そうすれば島は活気づくはずだ。また、小中学生のアンケート結果を見て、8割くらいの子が島に残りたい、または、帰ってきたいと答えている様子を見て、きっといい島になると感じ、うれしい。」と話していただきました。また、会の終盤には、区長さんから「ふれあいを大切にするには心の交流が大切だ。特に、よい心を育てることが大切だ。そのために、人のためになることを率先して行えるようになってほしい。」とエールをいただきました。それぞれのお話を真剣に聞く小中学生の姿が印象的でした。

1時間あまりの短い時間でしたが、小学生と中学生、島民の皆さんが真剣に話し合う素敵な時間となりました。参加してくださいました皆様、ありがとうございました。



愛知県市町村対抗駅伝競走大会 12.1(土)

12月1日(土)に、愛・地球博記念公園内において、「愛知駅伝(愛知県市町村対抗駅伝競走大会)」が行われました。本校からは、第9区(一般男子)に、笠島先生が出走しました。日ごろから、島内を走り本番に備えてきました。また、当日は、本校からも生徒と保護者、教員が応援に駆け付けました。レース前には、生徒から激励のメッセージが書かれたハチマキを手渡しました。レース中は腰に巻いて力走していました。南知多町の結果は、13位でしたが、応援を力に変え、力走する姿が印象的でした。

笠島先生、お疲れさまでした。頑張る姿に感動しました。

また、会場だけでなく、それぞれの形で応援してくださいました皆様、ありがとうございました。



朝会より 12.3(月)

生徒発表(12月のテーマ:人権について)

鈴木美尋さん(2年)

私は人権と聞いたときに、人種差別が思いつきました。ですが、人種差別は自分のまわりで起きていないし、あまりなじみのないことなので調べてみました。調べてみたら、たくさん問題が起きていたり、悲しい事件が出てきたりしたので、差別はダメだなと、実感しました。

人権は誰もがもっていて、誰もが守らなければならないものですが、自分たちとは異なる文化を拒否しようとする人が増えてしまったら、この問題は永遠に解決しません。だから、私は、他国の文化に興味をもち、心を開いていくことが世界の平和につながると思います。そして、このような人がたくさん増えていったらいいなと思います。私もそんな人になりたいです。

人権についての講話(教頭先生)

明日12月4日から10日までは人権週間です。そして、12月10日は世界人権デーです。世界中で人権について考えようという日です。世界では肌の色や人種で差別が行われているところがあります。

学校で「人権」について考える話題は「いじめ」になることが多いです。いじめが起こると3つの立場に分かれるといわれます。一つ目は「いじめられる側」、二つ目は「いじめられる側」、あと一つは「周りで見ている側」です。周りで見ている人はよく、「私たち(僕たち)はいじめに関係ない」と言う人もいますが、周りで見過ごしていることがいじめをそのままにしてしまうことになります。いじめられている人は、なかなか自分から親や先生に言うことができません。だからこそ、周りの人たちの誰かが救いの手を差し伸べることが早期の解決につながります。いじめている人に「いじめな」「そんなことはやめろ」と言えればいいのですが、「次は自分がいじめの標的にされるのでは」という気持ちが湧くかもしれません。直接言えない場合は先生に伝えるのも一つの方法です。先生は伝えた人がわからないように解決の方法を考えてくれるはずです。もし、これからそういう場面に出会ったら、まず周りの人が救いの手を考えてください。